

受付印		家事審判申立書 事件名(性別の取扱いの変更)	
収入印紙 円		(この欄に申立手数料として1件について800円分の収入印紙を貼ってください。) <div style="border: 1px solid blue; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。) 	
予納郵便切手 円			

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	--------------------

水戸 家庭裁判所 支部 御中 平成 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲 野 一 郎 印
-------------------------------	-----------------------------	---

添付書類	(審理のため必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 申立人の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通 診断書 1通
------	---

申 立 人	本籍(国籍)	都 道 府 県	市 町 丁 目 番 地
	住 所	〒 -	電話 () 茨城県 市××× 丁目 番号 () 方)
	連 絡 先	〒 -	電話 () (注:住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。) () 方)
	フリガナ 氏 名	コウノ イチロウ 甲 野 一 郎	大正 昭和 年 月 日生 平成 () 歳)
	職 業	会 社 員	
	本籍(国籍)	都 道 府 県	
	住 所	〒 -	電話 () () 方)
	連 絡 先	〒 -	電話 () () 方)
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日生 平成 () 歳)
	職 業		

(注) 太枠の中だけ記入してください。
の部分には、申立人、法定代理人、成年被後見人となるべき者、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨

申立人の性別の取扱いを男から女に変更するとの審判を求めます。

申 立 て の 理 由

1 申立人は、小学校5年生頃から、自分の性別に違和感を覚え始め、中学校に入学後も、男子用トイレに入ることや他の男子生徒と一緒に着替えをすることが嫌で仕方ありませんでした。また、自分が女性であるとの認識もその頃から強くなっていきました。

2 平成 年 月から 大学付属病院 科へ通い始め、平成 年 月に性同一性障害と診断されました。それと同時に精神的サポート及びホルモン療法を開始し、平成 年 月及び平成 年 月には、性別適合手術を受けました。

3 現在の勤務先では、完全に女性と認識されており、名前も通称として「甲野花子」を使用しています。

4 申立人は、このように外見も中身も全く女性なのに戸籍などの性別欄が男となっているため、社会生活上不便な思いをすることがあります。したがって、性別の取扱いを男から女に変更する審判を求めます。

5 なお、申立人には、子がいませんし、結婚もしていません。

(成年に達した子がいる場合)

5 なお、申立人は現在結婚していませんし、子(長女 , 昭和 年 月 日生)がいますが、既に成年に達しています。

(注) 太枠の中だけ記入してください。